

11月上旬

諮問関係、料金体系の評価



ヒアリング
(4～5回程度)

- ・都道府県(必要に応じ政令市)
- ・高速道路会社、関係民間団体(経済団体、自動車ユーザー団体等)



論点整理・骨子(案)



来夏
目途

とりまとめ(中間答申)

○ 検討背景

- ・コロナ禍を乗り越え、あらゆる社会・経済状況への機動的な対応を念頭に置きつつ、自動運転等、技術の進展にも対応した未来志向の国土幹線道路の将来像が必要。
- ・民営化後15年、新たな料金体系への移行後5年以上が経過する一方、大都市部渋滞等、残存する課題の抜本的解消に向け、柔軟な料金施策の展開等の速やかな対応が必要
- ・インフラ老朽化や一層激甚化・頻発化する災害に対しつつも、高速道路は一般道に比して、より高いサービス水準を維持し続ける必要。



○ 論点

- ・人流・物流を支え、災害からの速やかな復旧・復興を可能とするネットワークのあり方
- ・社会・経済状況の変化に応じて、道路の賢い利活用を実現する料金制度のあり方
- ・高速道路の高いサービス水準を更に引き上げつつ、良好なインフラを次世代に継承するために必要な維持管理・更新等を図る枠組み
- ・自動運転時代・ポストコロナ時代に必要となる機能強化の方向性等